

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	新潟県はまぐみ療育センター		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日から令和8年2月16日まで		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17人(長期入院中の児童を除く)	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日から令和8年1月30日まで ~		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園を実施していること	親子療育を通じて、お子さんとの関わり方を学んでもらったり、同じ方向を向いて成長を確認しあえるように支援しています。	親子療育の貴重な時間を有効に利用していただけるよう、所内外の職員研修等に参加し、研鑽に努めています。
2	多職種による支援をしていること	総合診察をはじめ、日ごろから医師、リハビリスタッフ、看護師、児童指導員、保育士が連携して支援できるよう取り組んでいます。	個別支援計画の作成にも多職種が参加し、実行性のある、充実した計画を立てられるよう取り組んでいきたいと思っています。
3	定期的に保護者学習会を開催していること	リハビリ部門とも協議しながら、充実した学習会を実施できるよう努めています。 保護者同士で情報交換するなど、交流の機会を持てるように配慮しています。	学習会の獲得目標を明確にし、体系的に実施できるよう努めています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	きょうだい児支援ができていないこと	新型コロナウイルス感染防止のため行事等を中止してきた経過があります。	きょうだい児に活動や行事に参加できるように対応を検討していきます。
2	地域交流が実施できていないこと	施設の特性上、新型コロナウイルス感染防止のため外部との交流を中止してきた経過があります。施設の特性上、外部との交流再開はハードルが高いです。	まずは併設の学校との交流が実施できないか検討していきます。
3	情報の発信力が弱いこと	行事予定のおたよりなど、書面での発信しか行っていませんでした。	ホームページを更新した際は保護者にお便りなどでお知らせするなどわかりやすい情報発信に努めます。また、外部の方にも活動を知ってもらえるような内容になるようにしていきます。